

NEWS LETTER 光線医療センター

2024年 第6号

先端医療学コース 光線医療班歓迎式

2024/6/7(金)、先端医療学コース 光線医療班歓迎式を行いました!

新たに2名の学生が、光線医療班としてともに研究活動に参加してくれることになりました。さらに、大学院生1年目の重久先生も光線医療に関する研究活動に参加してくれます。これからよろしくお願いします!

吉井 彩綾さん:吉井彩綾と申します。まだ実験を始めて間もないですが、先端医療学コースの時間を毎回とても楽しく過ごさせていただいております。できることをどんどん増やして、実験を楽しんでいきたいです。これから宜しくお願いいたします。

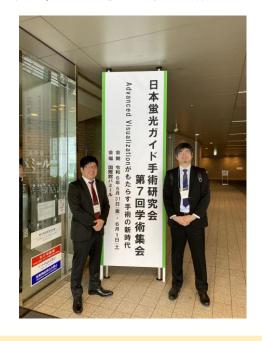
大岡 東子さん: 今年度光線医療班に所属させていただくことになりました、医学科2年の大岡東子と申します。下級生の段階から、研究をさせていただけることをとても嬉しく思っております。まだ医学的知識や研究のノウハウなども何も分からない未熟者ですが、先生方や先輩方にご指導いただきながら、少しずつ成長できるよう、努力していきたいと思います。これから宜しくお願い致します。

重久 立先生:この度大学院博士課程に入学しました重久です。尿路上皮癌に対するPDD・PDTを中心に研究を進めて参ります。これまでの臨床経験を研究に還元し、研究を世のために還元できるよう頑張りたいと思っています。ご指導ご鞭撻の程、何卒お願い申し上げます。



Kitajima-Yang Prize 優秀演題賞受賞

2024/5/31-6/1に日本蛍光ガイド手術研究会 第7回学術集会が札幌で開催されました。光線医療センターおよび高知大学からは、山本 新九郎先生、相田 眞咲先生、北川 博之先生、瀬尾 智先生が発表されました。山本先生は、演題「AIを用いた泌尿器科蛍光ガイド手術支援システム開発に向けた取り組み」を発表され、今回から新設されたKitajima-Yang Prize 優秀演題賞を受賞されました。Kitajima-Yang Prizeは、蛍光ガイド手術に多大なる貢献をなされた北島政樹先生の名前を冠した賞で、蛍光ガイド手術の今後の発展に寄与する演題に授与されました。おめでとうございました。







光線医療 関連発表 講演

筆頭演者;北川 博之先生

シンポジウム1「上部(血流・Navigation手術)」

食道癌術後異時性重複癌手術におけるICG近赤外線蛍光法の有用性

日本蛍光ガイド手術研究会 第7回学術集会 2024/5/31-6/1

筆頭演者;北川 博之先生

特別企画1「絞扼性腸閉塞に関する前向き観察研究」

絞扼性腸閉塞におけるICG蛍光法による血流評価、多施設共同前向き研究登録の手順

A multicenter prospective observational study investigating blood flow evaluation using indocyanine green fluorescence method during surgery for strangulated small bowel obstruction iFEISS study group 日本蛍光ガイド手術研究会 第7回学術集会 2024/5/31-6/1

筆頭演者:瀬尾 智先生

シンポジウム5「肝胆膵(胆道造影)」

肝胆膵外科におけるAdvanced Visualization -次に何を光らせるのか?-

日本蛍光ガイド手術研究会 第7回学術集会 2024/5/31-6/1

筆頭演者;相田 真咲先生

シンポジウム5「肝胆膵(胆道造影)」

腹腔鏡下胆嚢摘出術における胆管損傷回避を目的としたICG術中胆道造影の有効性の検討

日本蛍光ガイド手術研究会 第7回学術集会 2024/5/31-6/1

筆頭演者:山本 新九郎先生

Kitajima-Yang Prize

AIを用いた泌尿器科蛍光ガイド手術支援システム開発に向けた取り組み

日本蛍光ガイド手術研究会 第7回学術集会 2024/5/31-6/1

筆頭演者;井上 啓史先生

「光で診て、光で治す~Photo-Theranostics Era~」

泌尿器科 日常診療 向上のためのウロセミナー 2024/6/6

光線医療センター ニュースレター

2024年 6月 24日 発行

発行責任者 • 編集責任者: 井上 啓史

(高知大学医学部 光線医療センター センター長)

文責:福原 秀雄

https://www.kochi-u.ac.jp/kms/CPDM/index.html